

# 会 議 速 報

## 開催概要

- 名 称：平成30年度 第1回新潟市花育推進委員会
- 日 時：平成30年7月26日（木）午前10時～11時半
- 場 所：食育・花育センター2階 講座室A
- 出席委員：青山委員、片岡委員、岸本委員、坂上委員、須田委員、中野繁子委員、  
中野優委員、八百板委員、横山委員  
(欠席：玉木委員)
- 事務局：食と花の推進課／松尾課長、岸本補佐、黒崎主幹、田中主査、岩城、渡邊、長澤主幹  
食育・花育センター／浅井センター長、岩野マネージャー
- 関係課：公園水辺課、農村整備・水産課、学校支援課、保育課

## 概 要

### 1 第2次花育推進計画の進捗状況について（資料1，2）

（事務局説明）

- ・資料1に基づき平成29年度数値目標の確定値を報告。
- ・資料2については、H30.3.20開催の委員会で報告しており、資料1のバックデータとしての位置づけで説明。

### 2 平成30年度花育推進事業について（中間報告）

食育・花育センターが指定管理者制度に移行して初めての委員会のため、体制の変更に伴う業務の整理について再度説明し、新体制の中での業務説明を行った。

#### ① 新体制の説明（資料3）

平成30年4月より、食育・花育センターは指定管理者制度を導入し民間事業者による運営となった。これに伴い、園芸講座や展示会・園芸相談、団体体験プログラム等の食育・花育センターで実施する事業は指定管理者が実施することになった。市としての花育推進は食と花の推進課に移管され、「花育推進計画の進行管理」「花育マスターの派遣による地域における花育推進」「花育通信の発行」等の全市的な花育の推進を行うこととなった。

#### ② 平成30年度花育推進事業の取り組みについて

##### ○食と花の推進課の取り組み（資料4）

- ・「花育の日」における普及活動  
4月及び10月の取り組みについて
- ・花育マスターによる地域での花育活動の推進  
今年度からの変更点を踏まえ、現在までの実施状況を説明
- ・関係団体と連携した取り組み  
「にいがた花推進委員会」「にいがた花絵プロジェクト実行委員会」と連携した取り組みを説明
- ・花育に関する情報発信

花育通信の発行等について説明

- ・生産現場の花育活動について
- 食育・花育センターの取り組み（資料5）
  - ・園芸講座・展示会の開催について
  - ・園芸相談の実施
  - ・小学校・保育園向け団体体験プログラムの実施
  - ・関係団体と連携した取り組み
  - ・花育に関する情報発信
  - ・食育・花育センターの運営ビジョンについて
- 関係課所管の取り組み
  - ・公園水辺課（資料6）
    - 緑化活動推進事業について
  - ・農村整備・水産課（冊子）
    - 多面的機能支払い交付金事業を活用した植栽による景観形成等への取り組みについて

#### （主なご意見等）

- ・花育マスターについて
  - ・花育マスターを知らない人がたくさんいる。また、花育マスターを体験した人の感想などはどんなであるか、気になる場所である。
  - ・派遣の際の対象人数は15人以上だが、老人施設などでは、15人未満の場合もある。学校などは、人数が多いが小規模施設の場合は定員に達しない場合がある。
  - ・花育マスターを利用して地域活動を実施できるのは、一団体につき、年一回限りである。その後もその団体が花育の取り組みを継続していくことが大事である。  
→花育マスター制度の運営方法については、見直しをする予定である。アンケートなども予定している。
- ・食育・花育センター講座の申し込みについて
  - ・園芸講座など、食育・花育センターで開催する講座の広報の仕方がQRコードによる掲載であったため、利用できない方がいたり、今までよりわかりずらくなった。  
→広報課や食育・花育センターと話し合いの機会を持つなどして、改善できるところは改善した。また、市報にいがた以外に、チラシを作成し、公民館などの公共施設に配布するようにした。
- ・花育の日の取り組みについて
  - ・花育の日の花、毎月の花など、花を題材にしたテーマを設け発信したらどうか。
  - ・保育園では、食育については、園の取り組みに組み込まれている。野菜を育てるなど、多くの園で実施している。野菜の花を花育に役立てるのも一考である。
  - ・学校・園（子ども）を通して家庭への波及効果が期待できる。
  - ・給食で花育メニューの提供やエディブルフラワーを使うなどでPRをしては・・・
  - ・食育と花育をタイアップしてもよいのでは・・・
  - ・小・中・高等学校で、花を活ける機会がある。学校の廊下に花が飾ってあると子どもたちは、廊

下を走らないようだ。暮らしの中に花があるだけで子どもたちにとっても良い影響となる。  
学校の先生の姿勢（意識）にもよるようだ。

- ・ 植栽をする際、花の種類その他、花の色を青色にするなどして、涼しげにみせるのもよい。

**(会議資料)**

次第

座席表

平成 30 年度新潟市花育推進委員会委員名簿

資料 1 第 2 次新潟市花育推進計画の進捗状況について

資料 2 平成 29 年度食育・花育センター花育関連事業の実績

資料 3 花育の推進体制

資料 4 平成 30 年度花育推進事業の取り組みについて（食と花の推進課）

資料 5 平成 30 年度花育推進事業の取り組みについて（食育・花育センター）

資料 6 緑化活動推進事業について（公園水辺課）

（冊子）平成 29 年度多面的機能支払交付金活動事例集（農村整備・水産課）